日覚ましい成長が続く中国経済を牽引する香港と華南地域を今年3月、日本の高校生15人が4泊5日の日程で訪問した。高校生たちは、現地、仕事現場で働く三菱商事社員から様々な仕事を教わり、現地の高校生たちとも交流して、文化も体験したとのこと。たくさんの刺激を受けたようだ。

海外プロジェクト探検隊
―世界の仕事現場を見に行こう!―

高校生が熱血取材

地域と歩む三菱商事

第7回 香港・華南

香港で三菱商事のオフィスを訪ね、説明を受ける高校生

都市基盤整備の最前線へ 環境・省エネ分野にも注力

高校生たちが香港到着後まず訪れたのは、摩天楼ビルが林立する市街地、経済の中心地・香港島にある香港三菱商事のオフィスだ。早速、本社真一社長から香港の歴史や経済などの説明を受けた。

2日目も同オフィスで、三菱商事の現地での取り組みを学んだ。香港を中国インドに次ぐ第3の拠点にしたい、三菱商事が注目に値わった十木関連施設の概要などについて、説明を受けた。今後は、環境や省エネビジネスの分野にとり組むとのお話が示されると、高校生たちは「環境とビジネスのバランスをどう考えるのか」などと熱心に質問。香港学園高校1年の陳明友さんは「インフラ整備の波にブランを提案し、事業に結びつけるという大切な役割が理解できたと、感想した。

次の日は、バスで香港を離れ、ある高一大リサイクル施設を訪れた。6月に開かれた北京オリンピックの会場になる。高校生たちは「環境とビジネスのバランスをどう考えるのか」などと熱心に質問。香港学園高校1年の陳明友さんは「インフラ整備の波にブランを提案し、事業に結びつけるという大切な役割が理解できたと、感想した。

次の日は、バスで香港を離れ、ある高一大リサイクル施設を訪れた。6月に開かれた北京オリンピックの会場になる。高校生たちは、整備した風力発電機などを見て、「ビジネスのバランスをどう考えるのか」などと熱心に質問。香港学園高校1年の陳明友さんは「インフラ整備の波にブランを提案し、事業に結びつけるという大切な役割が理解できたと、感想した。

地元の人たちと交流する高校生

参加した高校生リポーター

- 山田 佳子さん（私立聖隷義塾高等学校2年）
- 堀 綾香さん（私立和洋女子高等学校2年）
- 松原 舞さん（私立聖隷義塾高等学校1年）
- 金澤 雅さん（国立群馬工業高等専門学校2年）
- 鳥居 哲弥さん（東京都立国際高等学校3年）
- 山本 直人さん（私立聖光学院高等学校2年）
- 横田 友貴さん（私立世田谷学園高等学校1年）
- 岡村 潤さん（私立聖学院高等学校1年）

以上のメンバーが参加の応募者から選ばれました

深圳で進む住宅開発 香港の電力担う大発電所

年後からは、中国本土への交通関係を絡で自帰りの深圳視察を行った。香港に隣接する深圳は1980年に経済特区に指定されて以来、急速な都市化が進み、隣接で高層ビルや住宅の建設現場が目に浮きで、香港三菱商事深圳事務所を訪問。深圳に本社がある中国最大手の住宅開発会社「万科企業」が進める高級住宅団地の開発現場を見て回った。東京ドーム約10個分に当たる約7万平方メートルの敷地に、戸建て住宅やマンションなど約3,600戸を建設する大プロジェクトだ。三菱商事はプロジェクトの中で、開発で人気が高いというタイイン工業社製の空調機を約4千台納入している。

一行は、約1,600平方メートルの約1,500万円するというコンドミニアムタイプのモデルルームを見学。新興富裕層

開発とともに高層住宅が建ち、人々の暮らしが変わる

高層住宅建設ラッシュ。人々の暮らしが変わる

高層住宅建設ラッシュ。人々の暮らしが変わる

開発現場を見て回った。人々の暮らしが変わる

高層住宅建設ラッシュ。人々の暮らしが変わる

開発現場を見て回った。人々の暮らしが変わる

開発現場を見て回った。人々の暮らしが変わる

開発現場を見て回った